

問1 日本の議院内閣制において、行政権を担う内閣が国会に対して持つ、立法プロセスに関する重要な権限として適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 自ら作成した法律案を国会に提出する権限
2. 国会議員が提出した法律案を拒否する権限
3. 最高裁判所の合憲性審査を待たずに法律を制定する権限
4. 衆議院と参議院の意見が一致しない場合に法律を決定する権限

問2 国会で法律を作る際、衆議院と参議院で意見が合わないことがあります。なぜ、衆議院には「再議決」という強い力（衆議院の優越）が認められているのでしょうか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)

1. 衆議院議員のほうが、参議院議員よりも人数が多いから
2. 参議院には、法律を作る権限がないから
3. 法律は必ず衆議院から先に議論することになっているから
4. 衆議院のほうが、任期が短く国民の意見を反映しやすいから

問3 象徴天皇制において、天皇の国事行為に「内閣の助言と承認」が必要であると定められている理由について、国民主権の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)

1. 国会が定めた法律が憲法に違反していないかを、内閣が天皇に代わって最終的に判断する仕組みを整えるため。
2. 政治的な実権を持たない天皇の行為に対し、主権者である国民に責任を負う内閣がその責任を明確にするため。
3. 天皇が独自の判断で国務大臣を罷免できるようにし、行政の停滞を防ぐ権限を内閣が保証するため。
4. 予算の編成や法律の制定において、天皇が内閣に対して直接的な命令を下せるようにして行政を迅速化するため。

問4 日本の国会において、衆議院の議決が参議院の議決よりも優先される「衆議院の優越」が認められている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 衆議院は参議院よりも先に予算案の審議を行うことが憲法で定められており、国の予算を迅速に決定するため。
2. 衆議院は参議院に比べて議員定数が多く、国民一人一人の声をより細かく拾い上げることができるから。
3. 衆議院は内閣総理大臣を指名する権限を持っており、行政運営を円滑に進めるために強い権限が必要だから。
4. 衆議院は参議院に比べて任期が短く、途中で解散もあるため、その時々国民の意思をより密接に反映できるから。

問5 日本の国会は二院制を採用していますが、衆議院が解散されている期間に、国に緊急の必要がある場合に開催される制度について、正しい説明はどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

1. 内閣の求めによって、参議院のみの集会が開かれる。
2. 臨時国会を招集し、参議院議員だけで全ての法律案を決定する。
3. 緊急事態宣言を発令することで、国会の議決なしに予算を執行する。
4. 内閣総理大臣が、衆議院の議員を一時的に呼び戻して会議を開く。

問6 日本の政治制度における三権分立の中で、立法府である国会が行政などを監視するために持つ権限について説明します。国会の各議院が、国政に関する調査を行い、必要に応じて証人の出頭や証言、または記録の提出を求めることができる権限を何といいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)

1. 違憲審査権
2. 予算の編成権
3. 国政調査権
4. 国事行為への助言と承認の権限

問7 刑事裁判において、貧困などの経済的な理由により、自ら弁護士を依頼することができない被告人のために、国がその費用を負担して弁護士を選任する制度を何といいますか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

1. 国選弁護制度
2. 裁判員制度
3. 検察審査会制度
4. 法律扶助制度

問8 日本国憲法が定める、最高裁判所の裁判官がその職務に適しているかどうかを、衆議院議員総選挙の際に行われる国民の直接投票によって審査する制度を何といいますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

1. 検察審査会
2. 裁判員制度
3. 住民投票
4. 国民審査

問9 日本国憲法では、法律案の議決などで衆議院の判断が優先される「衆議院の優越」が認められています。衆議院が参議院に対してこのような権限を持つ理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)

1. 衆議院は国の予算を専門に審議する機関であり、参議院よりも専門的な判断が可能だから
2. 衆議院は参議院よりも議員定数が多く、国民一人ひとりの意見をより細かく代表しているから
3. 衆議院議員は参議院議員よりも若くして立候補できるため、国民の将来的な意向を反映しやすいから
4. 衆議院は参議院より任期が短く、解散もあるため、国民の意思をより忠実に反映していると考えられるから

問10 日本の内閣が、政府の方針や行政の仕事に関する重要事項を決定するために開く会議を何といいますか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 閣議
2. 両院協議会
3. 国家戦略会議
4. 参議院本会議

問11 国会における予算の審議において、衆議院と参議院の議決が異なり、両院協議会を開いても意見が一致しなかった場合、日本国憲法の規定ではどのような扱いになるか。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. 衆議院の議決が最終的な決定を行う
2. 衆議院の議決が国会の議決となる
3. 衆議院にて出席議員の3分の2以上の多数で再可決すれば成立する
4. 参議院の議決を優先し、廃案となる

問12 日本の裁判所は、地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所、高等裁判所、最高裁判所の三段階に分かれています。このように不服申し立ての手続きを経て、一つの事件について三回まで裁判を受けることができる「三審制」が採用されている目的として最も適切なものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)

1. 立法権や行政権からの干渉を防ぎ、司法の独立を維持するため。
2. 裁判の回数を増やすことで、弁護士の仕事や役割を拡大するため。
3. 裁判官の人数を増やし、社会の変化に合わせた判決を出すため。
4. 裁判を慎重に行うことで、誤判を防ぎ、国民の人権を守るため。

問13 日本の司法制度改革の一環として導入された、一般の市民が裁判官とともに審理に参加する「裁判員制度」について、この制度が実施される裁判所と、対象となる裁判の種類の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)

1. 地方裁判所で行われる、損害賠償などを争う民事裁判の第一審
2. 最高裁判所で行われる、憲法判断が必要な刑事裁判の終審
3. 簡易裁判所で行われる、罰金刑などが科される刑事裁判の第一審
4. 地方裁判所で行われる、殺人などの重大な刑事裁判の第一審

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自ら作成した法律案を国会に提出する権限	日本国憲法および内閣法の規定により、内閣は国会に対して法律案を提出する権限を持っています。これを「閣法（政府提出議案）」と呼びます。国会は「国の唯一の立法機関」と定められていますが、実際には高度な専門知識を必要とする法律が多いため、内閣が提出する法律案が成立する割合が非常に高いのが日本の政治の特徴です。
問2	答え 4 衆議院のほうが、任期が短く国民の意見を反映しやすいから	衆議院議員の任期は参議院議員よりも短く、解散もあるため、国民の新しい意見をより直接的に反映できると考えられています。そのため、意見が分かれたときには、より国民の意志に近い衆議院の決定を優先させる仕組みになっています。
問3	答え 2 政治的な実権を持たない天皇の行為に対し、主権者である国民に責任を負う内閣がその責任を明確にするため。	日本国憲法下の政治体制では、主権は国民にあり、政治の責任は国民から選ばれた国会およびそこから選出された内閣が負います。天皇は政治に関する権力を一切持たないため、その形式的な行為（国事行為）に対しても、内閣が助言と承認という形で関与し、すべての責任を内閣が引き受けることで、国民の意志に基づく政治の仕組みを担保しています。
問4	答え 4 衆議院は参議院に比べて任期が短く、途中で解散もあるため、その時々国民の意思をより密接に反映できるから。	衆議院の任期は4年（参議院は6年）と短く、さらに任期の途中での解散があるため、参議院よりも選挙が行われる頻度が高くなります。これにより、最新の国民の意思が議席に反映されやすくなるという特徴があります。この「国民の意思との結びつきの強さ」が、両議院の意見が一致しない場合に衆議院の決定を優先させる民主的な根拠となっています。議員数や先議権などの違いも存在しますが、優越が認められる根本的な理由は、国民の意思のタイムリーな反映にあります。
問5	答え 1 内閣の求めによって、参議院のみの集会が開かれる。	衆議院が解散されている間は、国会としての意思決定が一時的にできなくなります。しかし、大規模な災害や経済的な急変など、国の安全や国民生活に関わる緊急事態が発生した際に備え、憲法第54条では内閣の求めにより参議院の緊急集会を開催できると定めています。これは二院制の例外的な運用であり、国会機能の空白を防ぐための仕組みです。
問6	答え 3 国政調査権	三権分立の仕組みにおいて、国会が内閣などの行政運営をチェックするために認められた重要な権能です。この権限に基づき、議院が重要な問題について直接関係者から話を聞く「証人喚問」などが行われます。予算の編成は内閣、違憲審査は裁判所、国事行為への助言と承認は内閣の役割であり、それぞれ権限が分立しています。
問7	答え 1 国選弁護制度	日本国憲法第37条では、刑事被告人の権利として弁護人を依頼する権利を保障している。経済的な困窮などの理由で自力で弁護人を確保できない場合、国が公費で弁護人を付けることで、裁判の公平性と被告人の人権を保護する仕組みとなっている。判決を下すのは裁判官であり、弁護士はあくまで被告人をサポートする役割を担う。
問8	答え 4 国民審査	この制度は、主権者である国民が司法（裁判所）を直接監視し、チェックする仕組みとして位置づけられています。最高裁判所の裁判官が任命された後、最初の衆議院議員総選挙の際に実施され、不適当と考える裁判官に対して投票を行います。罷免（辞めさせること）を可とする票が過半数を超えた場合、その裁判官は罷免されます。裁判員制度や検察審査会と混同されやすいですが、最高裁判所の裁判官を直接審査するのはこの制度特有の役割です。
問9	答え 4 衆議院は参議院より任期が短く、解散もあるため、国民の意志をより忠実に反映していると考えられるから	日本の二院制において、衆議院は任期が4年（参議院は6年）と短く、さらに衆議院にのみ解散があるため、選挙を通じてその時々国民の意見が反映されやすい性質を持っています。そのため、両議院の議決が一致しない場合には、より民意に近いと考えられる衆議院の議決を優先させる「衆議院の優越」が憲法で定められています。
問10	答え 1 閣議	内閣がその職権を行うために開く会議を閣議といい、内閣総理大臣とすべての国務大臣によって構成されます。ここでは政府の重要方針が決定されますが、日本の慣習として全員一致によって意思決定が行われるのが原則です。内閣総理大臣はこの閣議を主宰し、決定事項に基づいて行政各部を指揮監督します。
問11	答え 2 衆議院の議決が国会の議決となる	予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名については、衆議院の優越が強く認められており、両院協議会で意見が一致しない場合、直ちに衆議院の議決が国会の議決となります。選択肢にある「衆議院にて出席議員の3分の2以上の多数で再可決」が必要となるのは、一般的な「法律案」の場合です。
問12	答え 4 裁判を慎重に行うことで、誤判を防ぎ、国民の人権を守るため。	三審制の最大の目的は、裁判を慎重に繰り返すことで事実の誤認や法令の適用ミス（誤判）を極力減らし、国民の基本的な人権を不当に侵害しないようにすることにあります。複数の異なる裁判官が判断に関わることで、判決の公正さを高める仕組みになっています。司法の独立も重要な原則ですが、三審制という「回数」の仕組みは、特に人権保障と密接に関わっています。
問13	答え 4 地方裁判所で行われる、殺人などの重大な刑事裁判の第一審	裁判員制度は、国民の視点を裁判に反映させ、司法に対する理解と信頼を深めるために導入されました。この制度は、すべての裁判ではなく、殺人や強盗致死傷などの特定の重大な刑事事件が対象となります。また、三審制のうち最初の段階である第一審において、地方裁判所で実施される仕組みとなっています。民事裁判は対象外であり、最高裁判所で行われることもありません。